



20世紀初めのレーパーバーン。通りの東のはずれにあるシュピールブーデンプラッツには劇場やレストランが立ち並び、週末には老若男女の社交場としてにぎわった。

## 工藤篤子メールマガジン45号 2004.03.05

### ●ナチスの中国人迫害●「中国人の朝と夕べ」講演会でのエピソード

3月とはいえ、ハンブルクはまだまだ寒い毎日ですが、窓から見える庭のリンゴの木が芽を吹き始め、アムゼル（くろうた鳥：つぐみの一種）のささやかな歌声が聞こえ始めました！

メールマガジンにお返事をくださっている皆様に、この場をお借りして、心より感謝申し上げます。ひとりひとりにお礼のメールが出せないことをどうぞお許し下さい。けれども、皆様のお便りにいつも励まされています。ありがとうございます！そして、お祈りの課題をいただいた時には、必ず祈らせていただいています。

最近、私はホロコースト情報への感謝メールやお便りをずいぶんいただいています。私自身、ホロコーストのことをさらに知る中で、神の選びの民への理解と祈り、世界平和への祈り、日本人の救いのための祈り、そして人類救済への祈りが緊迫したものになってきているのを感じます。今年の夏にはアウシュビッツを訪問する予定ですので、またそのときに詳しく報告させていただこうと思っています。

---

### ★ナチスの中国人迫害

今日は、1月にご報告しきれなかった、ナチスによるハンブルクの中国人迫害について書かせていただきます。

ハンブルクには、19世紀後半から、ザンクト・パウリ地区にチャイナ・タウンができはじめました。このザンクト・パウリ地区にはレーパーバーンと呼ばれる通りがあります。今では夜の興業街となっていますが、当時、港に近かったこの地区は、船のロープ職人がこの通りに集まっていたことから、この名前がつけられました。ロープとは、ロープのこと、レーパーとはロープ職人、バーンとは通り(軌道)という

意味です。この通りから一筋北に入ったところに、シュムック通りがあります。ここが当時のハンブルクの小さなチャイナ・タウンでした。

19世紀後半、主に中国南の広東省からの蒸気船が、世界各地に石炭を運びました。通称“有色人船乗り”たちが、寄航先の港で、船が再び出発するまで暮らせるようにと、宿、レストランなどが作られたのがチャイナ・タウンの始まりです。ハンブルクのチャイナ・タウンは、サンフランシスコやニューヨークのそれと比べると小さな地区にすぎず、その中国人住民数は100人にも及びませんでした。このチャイナタウンは、次第に“エキゾチック”な地区として人気を博するようになってゆきました。

しかし、ハンブルク秘密警察と犯罪取り締まり警察は、1944年5月13日、“チャイニーズアクション”と称して、中国人一斉検挙を開始、まもなく、シュムック通りから中国人の姿は消滅します。彼らは何らかの汚名を着せられて処刑されたのでした。この不正検挙の後ろ盾は、あくまでも、ナチスの「人種差別政治」でした。

---

### ●「中国人の朝と夕べ」講演会でのエピソード

「中国人の朝と夕べ」と称し、中国人ザンクト・パウリ迫害のことを朗読と音楽で綴った講演会がありましたので、聞きに行きました。

私の心の中では、ナチの中国人迫害は、南京戦争で日本が中国にしてきたことと重なるものがありました。ドイツは、戦後60年近くたった今でも、このように自分たちが犯した罪を、新しく発見された事実として公表し、謝罪を続けています。日本もいつかドイツのように、自分たちの罪を謝罪し、このように国内外に公開する日が来て欲しいと願っています。「もし、隣の席に中国人が座ったなら、どうかその人に、日本が中国で犯した罪を謝罪させてください。」と祈りつつ、会場に向かいました。

そして、何と私の隣には、若くてかわいらしい中国人が座ったのです！それで、講演会が始まる前に、私は、会話のきっかけをつかもうと思い、幾度となく彼女に話しかけました。「どこから来たの？」「いつドイツに来たの？」「ドイツの生活はもう慣れた？」・・・最初、彼女は、慣れないドイツ語に、あまり答えたくなさそうな感じでした。何とうるさい日本人、と思ったかもしれません。それがです！彼女がコンセ（コンセルバトリウム＝音楽学校）の声楽専攻の学生だということで、コンセの日本人学生で私のところにレッスンに来ている子がいる、と言ったら、彼女は急に姿勢を正して、「もしかして、あなた、M子の先生ですか！？」と聞いてきたのです。「そうです。」と答えると、「これは運命的な出会いです！私はあなたにずっと前からレッスンを受けたいと思っていました！」と言うのです。その後、私は、主にお願したとおり、彼女に謝罪することができました。感謝！

---

♪お祈りください♪

-上記の中国人生徒に福音を伝えることができますように

-ユダヤ人の友人Lご夫妻の救いのために

-ドイツ滞在中、主との交わりを深めることができますように

---

どうぞ皆様も主の恵みに囲まれて幸いな日々を過ごされますように！  
シャローム！

工藤篤子